

# 『親しむ、生かす、創る、県民の文化』

昨年九月、富山県民文化条例が公布・施行されました。これは、文化の振興に関する基本理念や施策の基本となる事項を明らかにするものです。

## 富山県民文化条例 制定の背景

今日、県民の生活意識が「物の豊かさ」に加え「心の豊かさ」を求めるようになる中で、文化の振興に寄せられる期待がますます大きくなっています。

本県には、先人の遺産として受け継がれてきた豊かな伝統文化や生活文化等があります。また、美しい自然や特色ある文化施設等を舞台とした活発な芸術活動が行われ、新しい文化が創造され、それらは国内外にも発信されています。さらに、文化ボランティア活動など、身近に文化を楽しむ活動も盛んになってきています。

## 富山県民文化条例の概要

- ① 基本理念
  - 富山県民文化条例は次の四つを基本理念としています。
    - ① 文化の振興は、ア、県民の文化活動を通じた心の豊かさの追求が支援されること。イ、地域文化の創造活動が促進されること。ウ、これらを通じて活力ある地域社会が形成されること。エ、文化の香り高いふるさと富山が創造されることを旨として、県民とともに行われるものとする。
    - ② 文化の振興にあたっては、文化の担い手が一人ひとりの県民であることから、県民の自由な文化活動が尊重されなければならないこと。
- ② 文化の振興に当たっては、文化の担い手が一人ひとりの県民であることから、県民の自由な文化活動が尊重されなければならないこと。
- ③ 地域の文化遺産は、県民が誇りを持つことができる共通の財産として将来の世代に引き継がれるものとする。
- ④ 国際文化交流は、それが国際相互理解及び文化の発展に資することから、積極的に推進されるものとする。



ゆとりと豊かさが実感できる県民生活の形成

文化の香り高いふるさと富山の創造

活発な文化活動  
県民や文化団体等が、交流し連携しつつ、文化に親しみ、文化を生活に生かし、文化を創造する。また青少年が文化活動に積極的に参加する。



基本方針 県民が文化に親しみ、文化を生活に生かし、文化を創造することができるような諸条件の整備  
基本理念 県民とともに行われる文化の振興、自由な文化活動の尊重、地域の文化遺産の継承、国際文化交流の推進

## 富山県民文化条例制定



## 個性と美しい生き方を求めて



東京大学名誉教授 木村尚三郎氏

二十一世紀は、個性や美しい生き方などいわゆる土地ごとの品位が問われる時代。土地ごと、人ごとに「いのちとくらしの知恵」を輝かせることが大事になってきています。その意味で芸術や文化が重要性を増してきています。このたび富山県が県民文化条例を制定されたことは二十一世紀を先取りしたものとと言えます。

富山県には、先人の伝統など富山らしい「いのちとくらしの知恵」があり、また、おわら風の盆や万葉夢幻譚など土地ごとの美しい生き方があるとされています。また、条例の中には環日本海文化交流が謳われていますが、これは外国人も含めて明日に生きる人達一人ひとりが、交流の中から美しい生き方を創り出し、いこうとするものです。そういうところに富山らしさが出ていくと思います。

これらの意味で、次の時代の模範の生き方が表われているのではないかと思います。

## 親しむ、生かす、創る、県民の文化

文化の担い手は一人ひとりの県民です。県では、今後、県民文化計画を策定し、文化振興施策を総合的、計画的に推進し、県民の文化活動を積極的に支援していくことにしています。文化は一人ひとりのかけがえない幸せづくり。カンパスにあなただけの文化を描きましょう。



音楽はもちろん他の芸術分野でも、富山県のレベルは他県にひけを取らないと思います。ただ、それが地域に浸透しているかといわれれば疑問ですね。私はいろんな音楽会の実行委員をしています。主催者側の押し着せでは文化は浸透しないことを常日頃から感じています。

「文化は高尚なもの」という意識が県民の間に強いことが、文化の浸透を防げる第一の要因だと思います。例えば、気軽に音楽や美術を楽しめる街角につくるなど、普段から芸術と触れ合えるような環境にしていけば、堅苦しいイメージも和らいでくるのではないのでしょうか。また、文化活動をする人々にとって意外に大変なのが練習場の確保です。辛い私達は、地元の中学校の音楽室

## 文化に対する意識変革を



ら・こんせーる、のくちゅーる代表 浜藤 浩人さん  
国民文化祭では、魚津市で開催されたオーケストラフェスティバル副専門部長として活躍

音楽はもちろんな他の芸術分野でも、富山県のレベルは他県にひけを取らないと思います。ただ、それが地域に浸透しているかといわれれば疑問ですね。私はいろんな音楽会の実行委員をしています。主催者側の押し着せでは文化は浸透しないことを常日頃から感じています。

文化の定義は様々ですが、広い意味では日々の生活そのものが文化といえます。でも、食べて働いて寝るだけで生活が豊かになるとは思えません。自分の人生に色を加えるのが文化ではないでしょうか。定年になってから、いきなり「好きなことを見つけてみましょう」といってもなかなか難しいものです。若いうちに植えつけられたものが伏流水となり、年月を経て表面に湧き出してくるのが理想だと思います。



施策を望みます。

## 文化とは人生を彩る色



和町朝子舞踊研究所 和田 伊通子さん  
国民文化祭では、洋舞フェスティバルや開会式で素晴らしい創作舞踊を披露

「富山県は行政が舞踊に対して理解があるから羨ましい」という声や、他県の関係者から聞かれます。ただ残念なのは、指導者が不足していること。指導の勉強のために先進地に人材を派遣し、Uターンをして地元で文化振興に一役買ってもらおう。そんな積極的な